



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

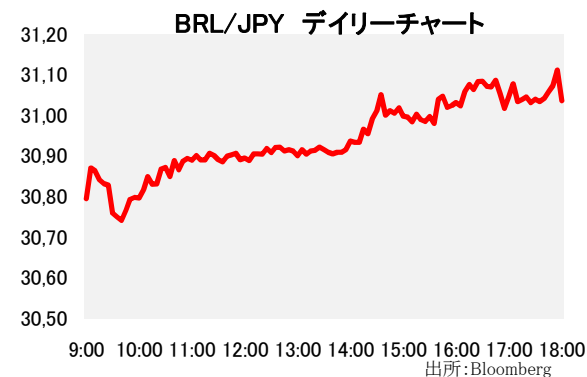
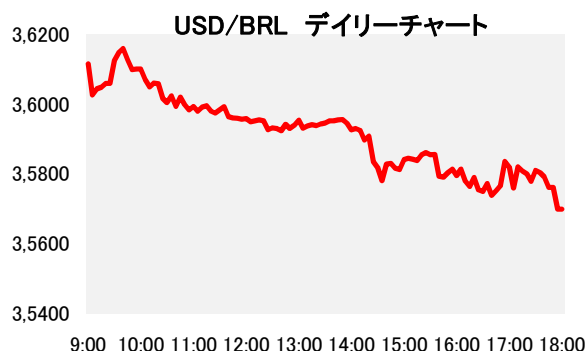
1. マーケット・レート

			5月23日	5月24日	5月25日	5月27日	5月30日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3,5720	3,5710	3,5830	3,6110	3,5690	-0,0420
	BRL/JPY	Spot	30,58	30,79	30,75	30,54	31,04	+0,50
	EUR/USD	Spot	1,1219	1,1143	1,1155	1,1116	1,1140	+0,0024
	USD/JPY	Spot	109,25	109,97	110,19	110,32	111,12	+0,80
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	13,833	13,830	13,791	13,760	13,786	+0,026
	Future	1Year(p.a.)	13,269	13,243	13,258	13,321	13,188	-0,133
	On-shore	6MTH(p.a.)	2,597	2,641	2,830	2,940	2,848	-0,092
	USD	1Year(p.a.)	2,760	2,853	3,009	3,006	2,970	-0,036
株式	Bovespa指数		49.330	49.345	49.483	49.051	48.964	-87
CDS	CDS Brazil 5y		356,69	355,66	350,98	351,34	350,88	-0,46
商品	CRB指数		183,195	183,345	185,300	186,137	186,137	u,c,

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
FGVインフIGPM(前月比)	0.74%	0.82%	0.33%
FGVインフIGPM(前年比)	11.01%	11.09%	10.63%
中央政府財政収支	2.4b	9.8b	-7.9b
CNI Consumer Confidence	--	105.2	97.5



3. 要人コメント

メイレス伯財務相	一時的な増税の可能性はまだ残っている
----------	--------------------

4. トピックス

- 週末に石油公社子会社の元会長セルジオ・マシヤド氏が最高裁との司法取引でテメル大統領との音声データを提供すると報道があり、テメル暫定政権に対する懸念が強まると、レアルは3.6080で寄り付いた後、売りが優勢となり本日の安値となる3.6160を付けた。しかし原油先物価格が反発したほか、4月の伯中央政府基礎的財政収支が予想を大きく上回る黒字となったことが好感されるとレアルはじりじりと買い戻され、引け間際に本日の高値となる3.5740を付け、結局3.5690でクローズした。
- 本日発表されたブラジル中銀によるアナリスト予想集計では、2016年の経済成長率予想が-3.83%から-3.81%に、2017年予想は+0.50%から+0.55%に上方修正された。また、2016年のインフレ率予想は7.04%から7.06%に上方修正、2016年末の予想為替レートは3.67から3.65にレアル高方向へ修正された。
- リビア最大の原油積み出し港の近くで戦闘が起きたことを受けてWTI原油先物は49ドル台半ばまで反発した。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいませう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。